

道徳の時間で活用する
～希望と勇気、克己と強い意志～

岩国市立麻里布中学校 魚谷 則子

1 本場面におけるポイント

- 自分の過去・現在の夢について書き、その理由も考える。
- 班になり、一人ひとりの夢を発表し、それに対して感想を書く。
- 数人の生徒が、自分の夢を発表する。
- 「私たちの道徳」P16～21を読んで、夢に対する考え方を深める。

2 授業の実際

1 主題名（単元名・題材名） 「私の夢！過去・現在!!」

2 ねらい

自分の夢や友達への夢に対する考え方を深めることができる。

3 展開

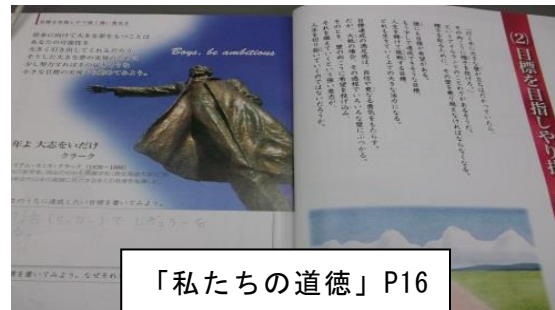
(1) 導入 担任の過去・現在の夢について話を聞く。

教師： 私の過去・現在の夢について話しましょう。

A児： 先生は夢を実現してすごいな。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント

自分の夢を語りすぎると時間が足りなくなるので、短時間で行う。



(2) 展開 自分の過去・現在の夢についてワークシートに書き、その理由も考える。

教師：自分の夢について過去を振り返り、思い出しながらワークシートに書いてみましょう。どうして、その夢をもつようになったのかも書いてください。

A児：航空自衛隊に入りたい。理由は空から人を救うことと、飛行機を操縦したからです。

B児：薬剤師です。理由は、病気で苦しんでいる人を助けてあげたいと思ったからです。

教師：班になって夢を一人ずつ発表してください。他の人の発表については、感想をメモしてください。班长さんよろしくお願いします。

C児：Oくん「大工」・・・幼稚園のころからずっと夢が変わっていませんがすごいと思った。

D児：Hさん「ドッグトレーナー」・・・人の役に立つ仕事になりたいという夢がもてているところが良いと思った。

教師：何人かの人に、自分の夢を発表してもらいましょう。

(4～5人くらい発表させる)

E児：幼稚園～小学校低学年の頃の私の夢はお花屋さんでした。→今の私の夢は薬剤師です。

F児：幼稚園～小学校低学年の頃の夢は警察官→ドッグトレーナー

G児：幼稚園～小学校低学年の頃の夢は大工→プロサッカー選手

H児：幼稚園～小学校低学年の頃の夢はケーキ屋→保育士が今の私の夢

I児：小さい頃の夢はバレリーナ→インテリアコーディネーター

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント

「夢」とは将来の職業に限定せず、「してみたいこと」でもよいことを告げる。

発表の際は恥ずかしがらず、その夢に自信をもたせるように支援する。

(3) 終末 「私たちの道徳」P16～21 を読んで、夢に対する考え方を深める。

教師：自分の夢について考え、友達の話やその理由を聞きましたがどうでしたか。

A児：みんないろいろな夢があってすてきだなと思いました。自分の将来やみんなの将来がとても楽しみです。

B児：過去と現在で同じ夢をもっている人もいたし、ちがう夢をもっている人もいた。みんな具体的な夢をもっていてすごく良いと思った。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント

「私たちの道徳」P16の朗読は、教師の朗読でも生徒でもどちらでもよい。

時間が足りなかった生徒については、後で完成させてから提出させる。

3 実践を振り返って

※「私たちの道徳」を活用しての成果

進路と向き合うには、少し時間がある。過去になりたいと思っていたものが、だんだん現実味を帯びた夢へと変化していき、自己の振り返りのみならず、級友の意見を比較しながら聞くことで、一層膨らんだように思えた。

本校の一年生は、道徳や学活の中で、夢に関連した内容の学習をすることにより、自己実現に向けた意識付けを行っている。

